

1 年間の活動成果を発表、発信、さらなる発展へ

佐賀商業高校は、「誠実・努力」を校训に、他者を思いやり、自ら学び、自分の考えを分かりやすく伝え、地域の期待に応える生徒を育成します。魅力ある学校づくりを推進します。



令和 5 年度 佐賀県立佐賀商業高等学校 学校新聞

題字：田中皇洋先生

第 11 号

〒840-0804 佐賀市神野東 4-12-40 電話 0952-30-8571

最新情報は Web に 随時掲載!



2 月の行事予定

1	木	
2	金	SS プレゼン大会
3	土	
4	日	全商商業経済検定
5	月	①②授業
6	火	特色選抜試験 ※生徒は自宅学習
7	水	漢字テスト⑨
8	木	
9	金	3 年最終登校日
10	土	剣道場工事
11	日	祝) 建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	特色選抜合格発表
14	水	英単テスト⑤
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	実用英語検定二次 全経簿記検定
19	月	EIX 予防講話 1 年 小論文講座 2 年
20	火	
21	水	学年末考査
22	木	
23	金	祝) 天皇誕生日
24	土	
25	日	日商簿記検定
26	月	
27	火	
28	水	同窓会入会式準備
29	木	卒業式予行
1	金	卒業証書授与式

変更になる場合もあります

SSプレゼン大会を実施 課題研究をメインに、各種報告

専門学科における最終学年での履修科目の一つである「課題研究」。三年生全員が、これまでの学習の集大成として、興味関心のあふれるテーマごとに課題を設定し、その解決に向けて取り組む主体的な学習です。今年度は、「起業家」「作品制作」「調査研究」「高度資格取得」「小論文」のテーマが設定され、個人または小グループで活動に励みました。研究過程では、企業や地域との連携や、学校外での活動、「きやもん祭」などのイベントも実施し、社会とのつながりのある授業の一つです。

この成果を下級生に伝え、次年度以降のさらなる発展につなげるために、2月3日、SSプレゼン大会を実施しました。

また、本校は重点目標の一つに「自分の考えを分かりやすく伝えることができる生徒を育成する」ことを掲げており、SSプレゼン大会は、課題研究以外にも幅広い生徒の活動を発表する場として位置づけられています。

本校生の活躍の舞台は校内にとどまらず、SSプレゼン大会では、佐賀県商業部会主催の「ビジネススクール」活動報告や、「未来のスペシャリスト」海外研修」での報告、佐賀

県商業研究発表会で披露した研究発表など充実した活動成果も発表されました。また、一、二年生のフレッシュな発表も、プレゼン大会に華を添えました。

課題研究の部では、それぞれの課題研究グループから8グループが、一般の部では、全学年から9つの個人またはグループが発表を行いました。

どの発表も素晴らしい、堂々とした魅力あるものばかりで、生徒たちも興味深く聞き入っていました。

課題研究の部は、校長先生・教頭先生・白武先生(学年主任)・中村先生(特活主任)による審査が行われ、最優秀賞は調査研究「フードロスを改善できるか」チーム、優秀賞は高度資格取得「自分の欲しい知識をつける」チームが受賞しました。また、一般の部での発表者には、全グループに校長賞が贈られました。

佐賀商業高校生のプレゼン能力の高さが証明された、素晴らしい大会でした。

早いもので、三年生は学年末考査真っ只中。最終登校日を前に合格体験発表会を実施し、代表生徒が後輩たちに目標達成のためのノウハウを伝授してくれました。

就職内定者からは、事務職・金融事務職や総合職、営業職、製造職、公務員など興味関心や適性に合った様々な職種に就く7名が、進学内定者からは、福岡大学、滋賀大学、立教大学、佐賀大学に合格を果たした5名が自身の体験を話してくれました。

「自己分析をしっかりすること」「評定を5に近づけておく」と進路の幅が広がる「企業

合格体験発表会 就職・進学のコツを伝授

がどのような人材を望んでいるのか研究を」「職場見学から面接が始まる」「一年生のうちに勉強や資格取得を頑張っておけばよかった」「自分の言葉で伝えることが大切」「マインドマップで思考の幅を広げる練習も効果的」「すぐ改善すること、さぼらないことがコツ」「笑顔でハキハキ」など、経験に基づいた具体的なアドバイスをたくさんいただきました。

クラス代表チームが学年プレゼン大会に臨みました。

1月25日の学年大会では、校長先生をはじめ先生方も審査員を務めていただき、大人数を前にした初めてのプレゼンに緊張しつつも、どのクラスも一生懸命に発表してくれました。

「伝える」ことを目標に、対話形式や寸劇を取り入れた発表、動画、スライドの工夫がなされており、発表を通して、佐賀の新たな魅力を発見することもできました。

今後の、アイデアを形にする取り組みへの発展に大きな期待が寄せられます!



アイディアプレゼン大会 佐賀の魅力を発信!

佐賀商業高校では、進学時や就職時よりも、今後の社会人として必要とされる力を育成しよう、様々な形での「発表」「プレゼン」を重視しています。様々な授業の中で、一枚レポーターや発表、作品の展示、グループ討議の機会が設定されています。

今回は、「佐賀県の魅力を生かしたイベントを企画し、企業に提案しよう!」をテーマに、「SDGs 自分ごと、実践、発信!」活動のまとめとして、実態把握や情報収集を踏まえたアイデア提案に挑戦しました。司会、タイムキーパー、パソコン係、発表係などの役割分担を行い、夏休みの課題やこれまでの活動をもとに短時間で練り上げたアイデアを発表、

未来のスペシャリスト海外研修や観光の高校との交流事業、西九州大学との連携など、国際交流にも力を入れている本校に、1月11日、韓国のディール観光高校から十五名の高校生が訪問してくれました。

ディール観光高校とは以前より交流を続けており、今後はお互いのホームステイの受け入れや本校生の韓国訪問も予定されています。

当日は、二年五組の生徒が英語で学校紹介を行い、ディール観光高校の生徒からは、韓国でのインターンシップの様子について説明を受けました。

その後、グループに分かれ、記念の色紙づくりに挑戦しました。最初はぎこちなかった生徒



能登半島地震の被災地へ
チャリティ販売で支援!

一月一日に起きた能登半島地震を受け、佐賀商業高校生が「自分たちができることをしたい!」と、生徒会役員が中心となって活動しました。

障害福祉サービス事業所「レインボーハウス」様とご協力いただき、全校生徒・職員の有志から注文を取り、商品を発注、商品に募金金額を上乗せして販売することで、「おいしいクッキーを食べる」を応援する販売会を実施しました。

また、高校生にできることの一つに、震災を風化させないこともあると考え、12冊の未曾有の災害といわれた東日本大震災について改めて学ば

商品に注文や発注、仕分け、販売など裏方の作業も経験し、商業高校ならではの活動となりました。今後も様々な形で「気持ち」を形にしたいと思います。

